

屋久島レポート

実施日 2018年5月8日(火)~5月11日(金)

【第1日目】

11:45 発の JAL647 便で鹿児島へ快適な空の旅。しかし鹿児島空港は雨模様、乗り継ぎ便の屋久島行き搭乗口へ行くと屋久島空港は視界が悪くこれまでの便はすべて欠航。登場予定の JAC3755 便は天候調査中の表示。やきもきしながら待っていたら 10 分遅れで出発とのこと。ところが屋久島空港に着陸不可と判断したら鹿児島または福岡空港に引き返すアナウンス。やっと離陸したが 20 分足らずですぐに着陸態勢、しかし視界不良で着陸できず再度上昇、旋回しながら天気の回復を待ち 2 回目のトライで無事着陸。機内からは万雷の拍手でなんとか屋久島に到着です。タクシーで安房の民宿華の屋へ。夕食は朝とれたサバの刺身、トビウオのてんぷらと大変なご馳走で大満足でした。

【第2日目】

この日も午前中は曇りでところにより雨、午後から回復に向かい翌日は快晴との予報のため登山は第3日目とし、全員で白谷雲水峡に行くことにする。バスを乗り継ぎ1時間半かかって到着。登山組は弥生杉コースから奉行杉コースを取り、散策組は屋久杉コースのみとする。小雨のぱらつきのような天気でも雨具、スパッツ、ザックカバーを装備して全員で出発。屋久杉コースを回った歩道分岐で二手に分かれる。奉行杉コースは三本足杉、奉行杉、二代くぐり杉等巨大な屋久杉の原生林を歩く登山コースで屋久島を満喫できるコースだった。翌日の宮之浦岳登山の足慣らしとしてちょうど良い3時間半の山行であった。この日は翌日の備えて早目の就寝とした。

【第3日目】

登山組は3時起床、4時にジャンボタクシーで出発。ヘアピンカーブを登る事約1時間で標高1369mの淀川登山口に到着。あたりはまだ真っ暗。入山協力金1000円を払いヘッドランプをつけて5時に出発。約50分ほどで淀川小屋に到着。あたりもすっかり明るくなりここで朝食弁当。ここからアップダウンを繰り返しながら約2時間かけて花之江江へ。ここは標高1640mにある水のきれいな湿原だ。湧き出た水がとてもおいしかった。ここからまた登る事1時間で投石平に到着。目の前に広がる黒味岳の巨岩岩肌に山つつじが咲き誇る絶景を楽しみながら休憩。ここからもアップダウンを繰り返しながら安房岳を通過し栗生岳へ。まだ宮之浦岳は見えません。栗生岳を迂回した後、眼前に屋久島最高峰宮之浦岳がそびえます。雲一つない快晴の中最後の登りで標高1935mの宮之浦岳山頂に到着。山頂での眺望を楽しみ昼食後11:00過ぎに下山開始。下山は登りのコースを引き返すコース。登りに比較し下りは1時間短縮予定が長時間山行の疲れか、アップダウンに足を取られ、結局淀川登山口についたのは16:40となり登りとほぼ同じ時間を費やした。歩行距離16km累積標高差1000m歩行時間11時間の大変厳しい山行であった。帰りのタクシーでは途中紀元杉に寄ったが縄文杉に次ぐ巨大杉に圧倒された。

散策組は安房を9:20にバスで出発し、紀元杉を見た後屋久杉ランド、屋久杉自然観、世界遺産センターを見学して早めに民宿へ戻っていた。

【第4日目】

民宿からジャンボタクシー2台で屋久島空港へ、鹿児島空港で昼食を取り羽田空港へ。事故もなく天気にも恵まれ全員屋久島を堪能した山行となりました。

【参加者】登山組~伊藤、谷石、富岡、岩井、反後、堺、重岡、玉井、柳田 以上9名

散策組~赤沼、椎井、藤村、田中、杉山、由井 以上6名